



今回のソフィー先生の掲示コーナー (SurfaceGo3を利用して12月7日撮影)
冬休み前からその内容で楽しめます!!

2学期末考査も終了し、今年も残すところあとわずかという時期になりました。高校1年生の教室をのぞいてみると、学習記録や授業などで、端末やプロジェクターが当たり前のように使用されており、見慣れた光景となりつつあります。授業の中でも、端末があるからこそできる取り組みをされている教科もあり、学びや学校生活が変化しつつあることを改めて実感する今日この頃です。

いろいろな可能性を秘めています!



守高のBYOD活用拡大に向けて「Classi」の試験導入

今年度、一人一台端末導入に伴い、「Classi」というサービスを11月から試験的に導入しました。様々な機能がありますが、今年度は①学校生活の充実、②個別最適化に向けた準備の2点に期待をして検討を進めています。

①の学校生活の充実に向けて、まず今月は「欠席連絡」を中心に活用してきました。連絡が集中する朝でも確実に欠席・遅刻を伝えることができることと、記録が残るため、非常に使いやすく感じています。今後は学校からの連絡や、生徒への連絡にも活用できないか検討していきたいと考えています。

②の個別最適化に向けた準備では、毎朝学習記録をClassiで記録するようになりました。これまでと異なり、個人のデータとして蓄積されるため、教科ごとの学習バランスや学習時間の推移を確認することができます。学習サイクルや生活記録が残るため、担任も本人も現状把握に活用しやすいと感じています。今後は、模試の準備や振り返り、生活面と学習面の資料として活用を検討していきたいと考えています。

「Classi」とは、ベネッセホールディングスとソフトバンクの合弁会社Classi株式会社が提供する、「学校の授業・生徒指導」「生徒の学習」のための先生・生徒・保護者がつながるICTプラットフォームです。

11月からは「欠席連絡」は電話連絡に加え、Classiでも受け付けています。保護者用アカウントを配布していますので、ログインいただき、ご活用ください

学習記録
毎日の学習の進捗を、生徒が記録し、先生はWebにアクセスするだけで生徒の個人別データを確認できます。

Classi

ポートフォリオ
生徒が、学習履歴・活動記録を自主的に入力する機能。日々の情報が蓄積され、振り返り学習にも役立ちます



生徒画面



視覚的にわかりやすく、生徒はすでに使いこなしているようです。

進む学びのスタイルの変化!

今こそ考えたい守高の「個別最適化」!!

本年度、本校では教育改革に伴い、「問いを立てる」、「個別最適化学習(アダプティブ・ラーニング)」をテーマに教育活動に取り組んでいます。個別最適化を進めるにあたり、特に私が大切にしていきたいのは「自己調整学習」という概念です。自己調整学習とは、学習者が自らの学習のあり方を調整しながら、能動的・主体的に学習目標の達成に向かう学習のこと。生まれながら身につけている能力や教育環境によって決まるのではなく、学校や社会の中で学習者が自ら「主体的」な関わりをし、いかにして目標を達成しようとしたかが大きく関わるとしています。これは新学習指導要領の「学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」の部分と合致します。今回はそこに関連して「メタ認知」について考えてみたいと思います。

メタ認知とは「自分の思考や行動を客観的に把握し認識する力」のこと。このメタ認知を通して、学びの状況を点検(モニタリング)し、理解度や到達度によって自分で学習法を修正していくことこそ自己調整学習につながります。これを実現していくためには、記録を残すことと、見える化をする必要があります。端末の導入に伴い、ここを実現していきたいと考えています。

自己調整学習を実現し、個別最適化学習を進めていくためには誰かが与えてくれるものに取り組むだけの受動的な取り組みではなく、自身で改善案を考えていくことが非常に重要です。もちろん困難に直面したときは教師や友達に相談をし、コミュニケーションを通じて共に改善案を見つけていくこともできます。私は指導者と学習者、もしくは学習者同士が互いに影響しあうような関係性を創り出すことが必要ではないかと思っています。本校の受験スローガンである「チーム守山」として、生徒一人ひとりの夢の実現に向けて進んでいけると素晴らしいと思います。そんなプロセスの中で「新たな問い」や「新たな興味」を見つげられる力が導入端末を活用して身につけられるよう、準備をしていきたいと思っています。

